

平成7～14年 1995～2002

終戦から五十年、新たな旅立ち



平成9年、県遺族会創立50周年記念式典であいさつする田村元会長

世相メモ 平成9年

第一次石油ショック以来のマイナス成長で、証券・銀行の破綻がはじまった。中でも大手である山一証券の破綻は大きな話題となった。ダイアナ元妃の事故死やクローン羊の誕生など、思いがけないニュースが世間を賑わせた。



平成10年、県護国神社秋季大祭で神宮舞楽の奉納



平成10年、県遺族会壮年部代表者会議



平成11年、母への感謝の集いで戦没者のひ孫代表から堀江婦人部長（当時）へ花束贈呈

**世相メモ
平成10年**
戦後、正式に法律では定められていなかった「日の丸」「君が代」について、卒業式での扱い等を巡って社会問題化したことをきっかけに、国旗国歌法が成立した。また、国内初の臨界事故が発生するなど、戦後の人々の意識変化を示唆する出来事が起こった年であった。

- **平成7年（1995）**
 - 4月 県青壮年部「壮年部」と改称
 - 7月 県遺族会終戦50周年記念式典
 - 8月 終戦50周年三重県遺族会記念史を発売
 - 11月 三重県護国神社拝殿増築事業
- **平成8年（1996）**
 - 4月 壮年部会計を本会会計に統一
 - 7月 橋本龍太郎総理大臣靖国神社参拝、中曽根総理以来11年ぶり
 - 10月 遺児記念館、九段会館敷地に建築始まる
 - 11月 沖繩三重の塔建立30周年記念慰霊祭に243名
- **平成10年（1998）**
 - 8月 日本遺族会壮年部発展的解消、本会と合流
 - 9月 県遺族会結成50周年記念式典
- **平成11年（1999）**
 - 3月 日本遺族会壮年部発展的解消、新たな出発記念式典
 - 昭和館（遺児記念館に代わる施設）竣工・開館
- **平成12年（2000）**
 - 5月 県遺族会七代目会長に谷嘉昭氏
 - 12月 遺児による「慰霊友好親善事業10周年の集い」九段で
- **平成13年（2001）**
 - 5月 壮年部九代目部長に内田幸宏氏



平成11年、県婦人部大会にて婦人部部員のみで出征兵士を送る劇を披露

**世相メモ
平成11年**

大リーグ・シアトル・マリナーズの佐々木主浩投手が新人王に輝いた。また、シドニー五輪で高橋尚子選手が金メダルを獲得し、日本女子陸上界で史上初の快挙を成し遂げた。スポーツ界だけでなく、白川英樹氏がノーベル化学賞を受賞するなど、世界の中の日本が意識された。



平成12年、靖国神社の桜の下で「同期の桜」を歌う会



平成14年、県遺族会役員研修会であいさつする尾辻秀久日本遺族会副会長



平成14年、英霊にこたえる会三重県本部総会



平成14年、県遺族会創立55周年記念式典であいさつする齋藤十朗会長



平成14年、英霊にこたえる会で靖国問題に理解を求めるピラを配布（津駅前）

平成14年（2002）

- 8月 小泉純一郎総理大臣が靖国参拝（再任）
（以後6年連続）
- 5月 三重県遺族会結成55周年記念大会開く
- 6月 県遺族会八代目会長に齋藤十朗氏（参議院議員）
（調査員23名で）
- 9月 両陛下ご臨席のもと日本遺族会創立55周年記念大会
- 11月 県遺族会主催で初のスポーツ大会、伊勢市で開く